

【学術情報】

日本ワインコンクール (Japan Wine Competition) 2020 の中止について

恩田 匠^{1*}・吉川由貴²

¹山梨県産業技術センターワイン技術部 〒409-1316 山梨県甲州市勝沼町勝沼2517

²山梨県産業労働部産業振興課 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

About the Cancellation of Japan Wine Competition 2020

Takumi ONDA^{1*} and Yuki YOSHIKAWA²

¹Wine Technology Division, Yamanashi Industrial Technology Center
2517, Katsunuma, Katsunuma-cho, Koshu-shi 409-1316 JAPAN

²Industry Promotion Division, Industry and Labor Department, Yamanashi Prefectural Government
1-6-1, Marunouchi, Kofu-shi, Yamanashi 400-8501 JAPAN

「日本ワインコンクール」は、2003（平成15）年度に第1回が開催された（2015年に「国産ワインコンクール」から改称）。国産原料ぶどう100%を用いたワインを対象として、「競争原理」を導入した我が国初めてのコンクールである。

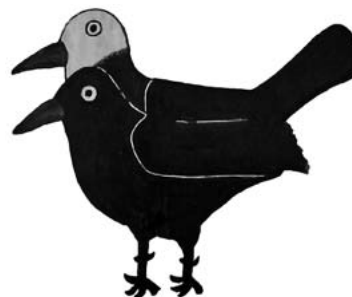
本コンクールの目的は、「国産原料ぶどうを100%使用した日本ワインの品質と認知度の向上を図るとともに、それぞれの産地のイメージと日本ワインの個性や地位を高めるため」に開催されるものとされている。

本年度、第18回目として開催を計画した2020年度のコンクール（JWC2020）は、「中止」となったことについて報告する。

JWC2020は、審査会を7月1日（水）～2日（木）に、山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨（甲府市大津町2192-8）を会場として開催される予定であった。本日程は、東京オリンピック2020大会の影響を回避するために、例年よりも2週間程度早く設

定された。一般公開は8月30日（日）に甲府記念日ホテル（甲府市湯村3丁目2-30）で開催される予定であった。

中止の理由は、2019年12月以降に世界的に感染が拡大した、「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」の影響を受けての判断である。日本ワインコンクール実行委員会（奥田徹会長）は、延期も含めた開催の可否について、慎重な検討を行った。



ヨゲンノトリ

「暴瀉病流行日記」に登場する鳥「ヨゲンノトリ」江戸時代末にコレラの流行を予言して「私の姿を朝夕に拝めば難を逃れることができる」と告げたとされる。（山梨県立博物館所蔵）

* Corresponding author (email: onda-wkk@pref.yamanashi.lg.jp)

その結果、外国人審査員の招聘がきわめて困難であると予想されたことや、コンクール開催にあたっての関係者の健康と安全を確保することが困難であること、また本年度内に延期とした場合のスケジュール調整が困難であることなどを総合的に判断して、2020年4月13日（月）に中止を決定して告知を行った。

来年度は、新型コロナウイルス感染症が終息し、無事に開催できることを心から祈りたい。